

# 大規模地震発生時の対応について

## 1 在校中の場合

- (1) 学校活動を中止する。安全な場所に避難し、ホームルーム人員を確認する。
- (2) 液状化・津波に関する情報、公共交通機関の運行状況等を教職員が確認した後、日没までに自力で帰宅できる生徒は、下校する。
- (3) 学校待機班及び下校できない生徒は、学校内の安全な場所で待機し、保護者の引き取りがあったときは、「生徒引渡しカード」により教職員が確認した後、帰宅する。
- (4) 学校行事及び部活動大会参加時等の場合は、上記2の措置を講じる等、適切な対応をする。

## 2 登下校中の場合

- (1) 速やかに身の安全を確保し、「最寄りの避難場所」、「自宅」、「豊橋西高校」から避難先を自ら選択して避難する。

### ※登下校中に地震の揺れを感じたら

- 周囲の状況を十分に確認して、「落ちやすいもの」「倒れやすいもの」「移動しやすいもの」から離れてしゃがみ、バッグなどで頭を守る。
- 屋根瓦、外壁、ガラス、看板の落下に注意するとともに、ブロック塀、電柱、電線、自動販機からできるだけ離れる。
- 崖・山崩れ、堤防決壊、液状化現象などにも注意が必要で、崩れそうな場所や水のそばからできるだけ離れる。
- 自転車に乗っていたら、すぐに降りる。
- 橋や歩道橋の上にいる時は、動けるなら早く渡りきる。
- バス・電車に乗っている時は棚から荷物が落ちてこないか確認する。  
座っているとき――手すりや座席にしっかりつかまる。  
立っているとき――手すりなどにつかまるか、つかまれないときはしゃがむ。

### ※地震の揺れがおさまったら

- 崖や山崩れのおそれのある場所、河川、海岸からできるだけ離れる。高台に避難する。
- 徒歩や自転車を使用している場合は、最寄りの避難場所へ行く。
- 公共交通機関利用者は、乗務員の指示・誘導に従う。

- (2) 自分の所在を保護者に連絡するとともに、学校にも「Classi」等を用いて安否情報を連絡する。

## 3 在宅中の場合

- (1) 「Classi」等を用いて安否情報を学校に連絡する。
- (2) 安全が確認されるまで学校は休校とし、自宅待機とする。
- (3) 安全確認及び学校再開の連絡については、学校ホームページ、学校からの「Classi」で配信、災害用伝言ダイヤル等で確認する。

## 大規模地震発生時の対応について

